令和２年度　しおさいの里等複合施設　事業計画

１．中期的な事業方針（計画期間：平成３０年度～３２年度）

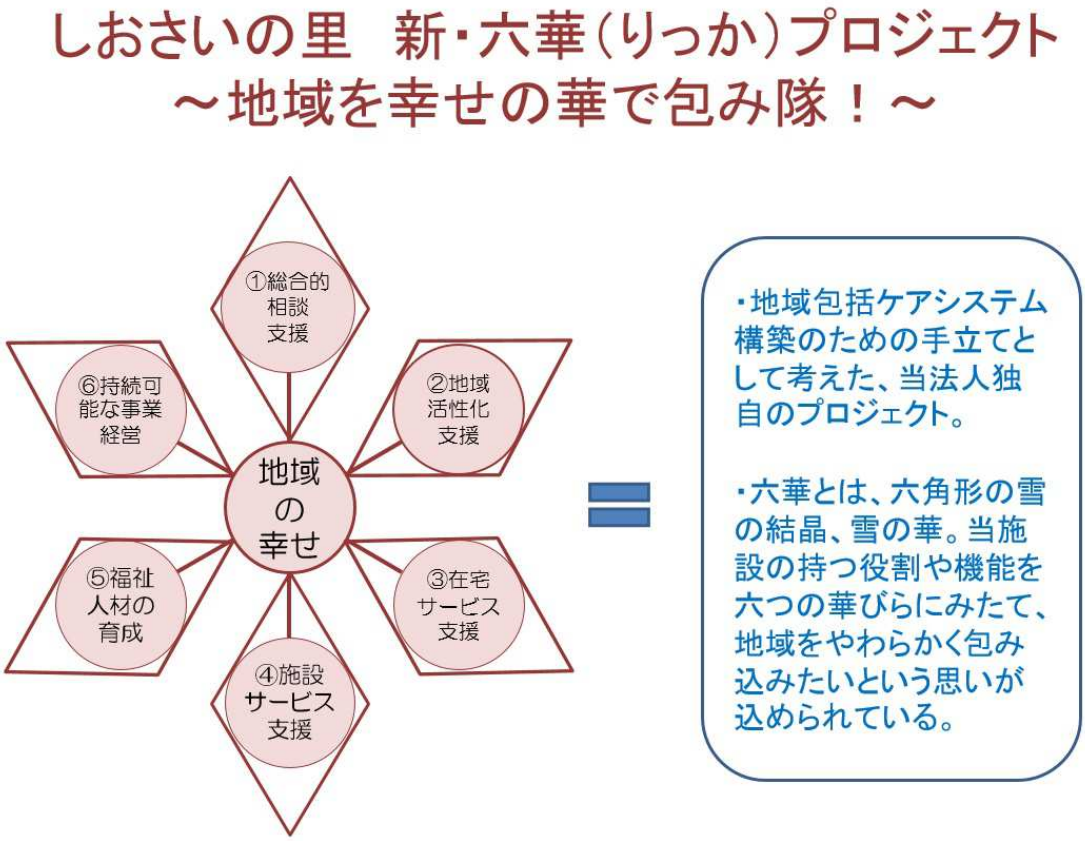
国はこれまで、国民一人ひとりが、住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるように地域包括システムの構築に向けた取り組みを進めてきた。また、これまでの制度改正の中で「地域包括ケアシステムの構築に向けた見直し」が行われ進められてきており「医療・介護の連携」「地域共生社会の実現に向けた取組み」などが推進されることとなった。

障害福祉分野においても、利用者の高年齢化や障がいの重度・重複化に対して、地域医療と密接に連携した支援の充実が求められ、現高齢福祉制度と障害福祉制度間の課題を見直し「共生型サービス（地域共生社会）」の実現に向けて制度改正されることとなった。

そのような中で、当法人では高齢・障害のサービスを持つ施設として「地域共生社会の実現に向けた取組み」を推進していくことがより求められている。

また、福祉に携わる人材に限りがある中で、職員がやりがいを持ちそして、適切にサービス提供が出来る仕組み（人材の確保と生産性の向上、質の高いサービスの実現）と更なる経費削減、施設設備の修繕等の効率的な経営をすすめる。

限られた経営資源を有効に地域に還元するため、当複合施設の各事業部門が連携し、一体となって進めてきた「しおさいの里　六華（りっか）プロジェクト」を今後も「新・六華プロジェクト」として推進していきたいと考える。



＜総合的相談支援（一ノ華びら）＞

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、障害者相談支援センター等との情報共有を図りつつ、地域住民の相談窓口機能を果たします。

＜地域活性化支援（二ノ華びら）＞

地域住民、住民組織等の多様な主体と協働しながら、地域社会の活性化に向けた取り組みを推進します。（・介護予防事業「だんだん広場」　・障害者スポーツ等の体験交流（ふくしのひろば等）　・認知症啓発活動　・地域交流行事（夏祭り等）　・社会奉仕活動　・地元保育園や小中学校等との交流事業　・ホームページや広報紙等を媒体とした情報発信）

＜在宅サービス支援（三ノ華びら）＞

介護及び障害福祉サービス事業所としての資源やノウハウを最大限活用し、地域に還元します。（デイサービスセンター、ショートステイ）

＜施設サービス支援（四ノ華びら）＞

在宅での生活が困難な方々、特に中重度の要介護者や障害のある方々への生活支援に努めます。

＜福祉人材の育成（五ノ華びら）＞

人材不足が顕著に現れている福祉分野において、組織の活性化を図りながら、互いが協力し合うとともに、やりがいのある職場づくりに努めます。（・職員研修　・目標管理　・メンタルヘルス対策　・組織体制の見直し　・給与改善　・障害者雇用）

＜持続可能な事業経営（六ノ華びら）＞

当複合施設の安定的、発展的な事業継続に向けての取り組みを推進します。

（・収入増加策の検討（空床管理、加算の検討等）　・効率的、効果的な業務改善による経費削減　・設備、備品の大規模修繕、更新の計画、実施　・夕映えの郷事業部との業務連携）

２．事業内容

（１）特別養護老人ホームしおさいの里（介護老人福祉施設）
（２）しおさいの里ショートステイ（短期入所生活介護、介護予防短期入所生活介護）
（３）障害者支援施設さいはま園（生活介護、施設入所支援、短期入所）
（４）デイサービスセンターゆりかご荘（通所介護、新総合事業通所型サービス（現行相当サービス、緩和した基準によるサービス））
（５）しおさいの里居宅介護支援事業所（居宅介護支援）
（６）しおさいの里地域包括支援センター（大潟くらし支援室・頸城くらし支援室）（上越市委託事業、介護予防支援事業）
（７）介護予防教室「だんだん広場」（上越市地域支え合い事業（まちづくり大潟委託事業）、法人独自事業）

３．令和２年度事業計画

３－０）法人における共同検討計画

【共同検討課題】

1. 介護保険制度と障害福祉制度の円滑な共同、および新たなサービス等の創造

・検討プロジェクトチームによる法制度上の「共生社会の実現」についての共同検討

2. 相談事業の改変を検討

・介護保険における地域包括支援センター・居宅介護支援事業と障害福祉制度における相談支援事業の共同、および新たな地域における相談体制の創造

３－１）しおさいの里等複合施設事業計画

（１）事業目標：福祉制度や分野を越えた新たな枠組みや連携の仕組みを検討するなかで、複雑で多様な生活課題を抱える地域住民や福祉サービス利用者のニーズに応えていきます。

（２）重点目標：

１．上越頸城福祉会版「地域包括ケアシステム」の構築を目指します。

①法人内（しおさいの里事業部・夕映えの郷事業部間）での横断的な組織運営の在り方について、法人本部機能の再編とともに継続して協議を進めていきます。

②今年度からの上越市地域包括支援センターにおける相談機能の拡充（障がいのある人及び生活困窮者）に効果的、効率的に対応するため、法人内相談支援部門（居宅介護支援事業所、夕映えの郷）を含めた連携体制を強化します。具体的には、拠点包括支援センター（大潟くらし支援室）の配置場所等について検討していきます。

２．時代に応じたケア体制の構築を目指します。

③高齢障がい者と障がい高齢者それぞれの特性を踏まえつつ、地域共生社会の視点に立ったケア体制について引き続き検討し、実践します。今年度は、デイサービスセンターにおいて障害福祉サービス（基準該当生活介護）の体制を整備し、地域のニーズに対応していきます。

④各ケアユニットや職種・職員間の「役割」を尊重し合うとともに、地域包括ケアシステムの原点となる「支え合い」・「思いやり」の精神や、チーム内でのコミュニケーションの大切さについて職員間で共有していきます。

⑤新潟県が実施主体となる「認知症介護研修（基礎研修、実践者研修、実践リーダー研修、指導者研修)」等の研修会に計画的に参加し、施設内での認知症ケア向上につなげていきます。

３．人材の確保ならびに生産性の向上と安心して働ける職場環境の構築を目指します。

⑥ICT（情報通信技術）を活用した記録業務の負担軽減や効率化、一人ひとりが働きやすい職場環境に向けた取り組みを推進します。

⑦介護ロボット等の活用による介護業務の効率化や負担軽減に引き続き取り組みます。

⑧地域に暮らす高齢者やボランティア、夕映えの郷メンバー等に対し、社会における活躍の場を提供するとともに、地域住民や施設利用者の生活の質の向上に引き続き取り組みます。

今年度の重点取り組みとして、介護予防教室だんだん広場・火曜クラスの開催場所を大潟保健センターから当複合施設内に変更します。全クラス（火曜・水曜・木曜）を一体的に運営することで法人全体としての業務の効率化を図るとともに、広場に参加する元気な高齢者等を施設部門でのボランティア活動等に積極的に働きかけていきます。

⑨大学や専門学校等からの実習やインターンシップを積極的に受け入れることで、将来の人材採用につなげていきます。また、今年度については次世代育成の観点から相談援助職の新卒採用についても検討していきます。
⑩更なる経費削減に努めるとともに、施設設備の修繕等や非常災害・防犯に関する対策を進め、利用者及び職員にとって安全・安心かつ快適な環境の確保に継続的に取り組んでいきます。

（３）重点数値目標

特別養護老人ホーム	入所	利用率 97.5%／年
	短期入所	利用率 83%／年
デイサービスセンター	1 日型サービス	延べ利用者数：25 人以上／日（650 人以上／月）
	半日型サービス	登録者数：25 人／月
障害者支援施設	生活介護	利用率：92%／年
	施設入所支援	利用率：92%／年
	短期入所	利用率：87%／年
居宅介護支援事業所		担当件数：130 件以上／月
地域包括支援センター		実態把握：650 件／年、
		介護予防ｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ：100 件以上／年（委託分除く）

３－２）在宅支援課　部門計画

（１）部門目標：当複合施設および法人または地域のそれぞれの事業所と連携して、地域の方々が必要としていること、困っている方々の相談などに誠意ときめ細かな配慮のもとで寄り添い、その人らしい自立した生活が送れるよう良質なサービスを提供し続けます。
（２）重点目標：
①職員一人ひとりが自分の仕事に責任を持ち、お互いの役割を認め、自分の役割をしっかりと果たします。
②ご利用者との関わりを大切にし、想いや望みをくみ取り、その実現に向けてご家族や地域の方々の力を借りて実現していきます。
③地域との連携の中でお互いの困りごと、協力し合えることを一緒に考え、実践していきます。

３－２－１）地域包括支援センター　部門計画

（１）部門目標：地域包括支援センターの基本的な視点（公益性、地域性、協働性）をもって「地域包括ケアシステムの深化・維持」から「共生社会の実現」に向けて地域や各分野の関係機関とも連携を強化していきます。
（２）重点目標：
①今年度から担当する障害者、引きこもり、生活困窮者などの相談支援体制を構築し、支援方法はケースを通じて職員間で情報共有を図ることで職員一人ひとりの支援力向上に努めます。
②介護支援専門員の支援で「かかりつけ医との情報共有」や「多職種連携」をテーマとした介護支援専門員研修会や関係機関との意見交換を年１回以上開催します。
③地域ケア個別会議は事例提供者をはじめとした参加者に対して、アセスメントのポイントや支援の助言など、「お土産」を持ち帰ってもらえる会議を開催します。また検討した事例はその後確実に必要な支援につながるように事例提供者への伴走支援を行います。
④地域ケア推進会議は上越市版地域包括ケアシステムの構築に向けて、年３回以上実施する地

域ケア会議のうち、地域の実情に合わせて見守りに関する内容、障害福祉に関する内容等を開催します。

３－２－２）居宅介護支援事業所　部門計画

（１）部門目標：法人内や他事業所との連携を図り、制度や地域資源のつなぎ役を果たすことでその人らしい自立した生活が送れるよう質の高い支援に努めます。また、個別支援を通じて抽出された地域課題に対しても関係機関と協働して取り組んでいきます。

（２）重点目標：

①特定事業所加算Ⅱの算定事業所として職員の資質や専門性の向上に努めると共に、事業所内での報告・連絡・相談の仕組みを機能させ、職員一人ひとりの支援力の標準化を図ります。

②ご利用者との関わりを大切にし、気持ちのよい接遇を心がけ、利用者一人ひとりの生活に対する意向の確認、家族の意向・想いを大切に支援していきます。

③事業所内でのコミュニケーションを大切にし、風通しがよく、お互いが助け合えたり高め合える職場作りに努めます。

３－２－３）デイサービスセンター　部門計画

（１）部門目標：関係機関や職員間の連携を密にし、年齢や障害を問わず利用者のニーズに合わせ柔軟に対応できる支援を目指します。

（２）重点目標：

①ご利用者のニーズを把握し希望に沿った行事や活動等を行い、サービス利用開始のきっかけ作りや、利用の継続に繋がるよう支援します。

②障害のある方への支援について研修会への参加や施設見学等も行い、障害のある方への支援の知識と技術を深めます。

③空き情報の定期更新や営業活動等を積極的に行い、新規依頼時には迅速に対応し、通所介護及び総合事業の毎月の利用延べ人数６５０人（毎日の利用者数２５名以上）、半日型デイサービス（主に総合事業の通所型サービスＡの対象者）の登録数２５人を目指します。

④職員間のコミュニケーションを大切にし、お互いに思いやりを持って、相談しやすく働きやすい職場環境作りに努め、笑顔を絶やさず、良質なサービス提供を目指します。

３－３）高齢介護課　特別養護老人ホーム　部門計画

（１）部門目標：利用者、職員共に笑顔で、安心して楽しみややりがいのある生活が送れるよう、心や思いに寄り添い、適切なサービス提供の実現を目指します。また地域の中の一員としての役割にも目を向け利用者・職員が一体となり充実したサービスの展開、質の高いサービスの展開を目指します。

（２）重点目標：

①利用者の基本的人権を尊重し、安心・安全な生活が継続でき、その人らしく笑顔で生活できることを大切にしながら支援します。

②認知症ケア担当者が中心となり、認知症の理解を深め、一人ひとりが自分らしく安心した生活が送れるような支援を目指します。認知症研修等の参加にも努めます。

③専門職としての自覚を持ち、個々の役割と責任を認識しながら、職員間のコミュニケーションを大切にし、風通しの良い、働きやすい職場環境を目指し、質の高いサービスを目指します。

④地域に暮らす高齢者や障害者、地域住民の活動の場としてボランティア活動やその他の社会

活動の受け入れを継続し、利用者の活動の輪の更なる広がり、可能性の引出しや楽しみ、やりがいを持つことで、社会との結びつきの更なる充実を目指します。
⑤一人ひとりが自身の資質向上のため、積極的な研修参加や自己研鑽に努めます。
⑥記録の電子化導入により、業務軽減や仕事の効率化等、職員一人ひとりの負担軽減を目指します。また移乗支援用具等の導入も進め、持ち上げない介助を推進し、腰痛予防にも努めます。

３－３－１）しおさいの里　２丁目　部門計画
（１）部門目標：利用者が心身ともに健康で充実した生活を送ることができるよう、職員一人ひとりが考え、協力し、真摯な姿勢で支援していきます。
（２）重点目標：
①日々の生活支援の中で、感染症の予防・安全への配慮を行いながら、年間・月行事の企画・開催や季節感のある飾り付けを行い、利用者に楽しんでもらえるように努めます。
利用者個々のニーズには、できる限り応えていきます。
②利用者への言葉の表現やトーン・対応の仕方等、不適切ケアに繋がらないよう、職員全員で気を付けます。
また、定期的に職員自身の介護・援助の仕方を振り返る機会を設け、ケアの質が維持・向上していけるよう努めます。
介護の基本となる整容（髪・髭・眼脂・衣類）や姿勢（食事の姿勢・栄養滴下時の臥床姿勢）には、特に気を配ります。

３－３－２）しおさいの里　３丁目　部門計画
（１）部門目標：利用者が安心し、健康な生活を送れるよう援助し、職員にとっても働きやすく、職員一人ひとりが個性を発揮できる環境作りに努めます。
（２）重点目標：
①利用者が健康で充実した生活が送れるよう、感染症の予防、また事故防止に努め、安心、安全快適なサービスを提供します。
②職員一人ひとりが考え意見を言い合えるコミュニケーションを大切にした環境、また相談しやすく働きやすい環境作りを目指し、職員の連携が密になるよう努めます。

３－３－３）しおさいの里　６・７丁目　部門計画
（１）部門目標：利用者一人ひとりが安心して楽しみのある生活が送れるよう支援し、職員にとっても働きやすい職場環境作りに努めます。
（２）重点目標：
①日々の支援の中で、利用者一人ひとりの楽しみややりがいを探りながらサービス提供し、楽しんでいただけるようまた、安心して過ごしていただけるよう努めます。
②新体制に伴い、職員間のコミュニケーションを大切にし、業務体制を更に工夫しながら働きやすい風通しの良い職場環境作りに努めます。

３－３－４）しおさいの里　５丁目　部門計画
（１） 部門目標：何度もご利用していただけるように心のこもったサービス提供に努めます。
（２） 重点目標：
①利用者やご家族の意向や苦情に真摯に向き合い、気持ちに寄り添った対応を行い、安心して利用できるよう努めます。
②職員全員が目標に向かって自主的に行動を起こし、互いに協力し合い、活発なコミュニケー

ションをとれる状態を目指します。
③感染症対策に留意した上で可能な限り、７丁目多目的室や特養の空きベッドを活用し、利用率アップにつなげ、毎月の利用延べ人数 303 人を目指します。

３－３－５）看護　部門計画

（１） 部門目標：利用者、御家族様が安心して過ごせるよう健康面から支えて行きます。
（２） 重点目標：
①入所されてから看取りケアまで、他職種と協力し合い、安心・安楽なケアを提供するように努めます。
②医療職種の立場から、嘱託医・病院・薬局の薬剤師と連携し、体調管理面から支えて行きます。

３－３－６）機能訓練　部門計画

（１） 部門目標：利用者様の思いを汲み取り、他職種との連携を図って援助を行って行きます。
（２） 重点目標：
①専門職としての視点から、利用者の能力や可能性を念頭に置き、安全な生活環境や充実した生活を送れるような支援に努めます。
②ボランティアの方と連携を図り、クラブ活動等を通して、利用者の楽しみややりがいを提供していきます。
③職員と利用者それぞれの負担軽減のため、持ち上げない介助の推進を図り、移乗支援用具及び移乗方法の啓蒙・普及を奨めます。

３－３－７）相談支援　部門計画

（１）部門目標：地域の方々や利用者、ご家族、施設職員が繋がりを大切にし、利用者一人ひとりが最期の時まで自分らしく、楽しみのある生活が送れるような支援を目指します。
（２）重点目標：
①利用者のアセスメントを充実させ、ご家族や施設職員と情報を共有します。
②地域に暮らす方々のボランティア活動を受け入れ、利用者が楽しみややりがいを持てるクラブ活動や外出を通し、地域との繋がりを目指します。
③電子化の導入により仕事の効率化や職種間の連携を図り、多職種と共同体制のもと利用者の生活の質の向上を目指します。

＜行事年間計画＞

４月	花見	10 月	水族館外出
５月	水族館外出	11 月	買い物外出
６月	かっぱ祭り、笑日（えんにち）	12 月	お買い物会
７月	七夕祭り、お買い物会	１月	お菓子作り カラオケ大会等
８月	蓮見学	２月	
９月	敬老会	３月	

＜クラブ活動・他活動＞

ちくちく倶楽部	男気クラブ	畑々クラブ	ガーデニング
アロマ・カフェ	しおさいカフェ	うみまち茶屋	音楽レク

３－４）障害支援課　さいはま園　部門計画

（１）部門目標：多種多様な障害や重度化に応じたニーズに対応できる施設を目指します。

（２）重点目標：

①利用者の「自分でできる」という思いを大切にした自立支援と、「なりたい自分」を目指す自己実現を支援し、ＱＯＬの向上を目指します。

②「人権尊重と尊厳の確保」を実践し、人権意識向上委員会の３原則を遵守した一人ひとりを大切にする施設を目指します。

③福祉施設として担っている役割を発信し、さいはま園の取り組みや長所、福祉の魅力がコミュニティに浸透するよう努めます。

④障害者の高齢化、重度化、障害や疾病の重複化などの課題を見直し、高齢・障害サービスを持つ法人として連携体制の構築に取り組みます。

⑤職員同士が相談しやすい環境で「協議（目的を合わせる）・協力（力を合わせる）・協調（心を合わせる）」のチーム力で働きやすい職場を目指します。

３－４－１）障害者支援施設（生活介護・施設入所支援）　部門計画

（１）部門目標：「ひとりのニーズに機能する施設」を目指します。

（２）重点目標：

①その人を支えているもの（人）・大切にしているもの（人）を理解し、個別支援計画に基づいた「一人ひとりを重視した支援」を行います。

②利用者の要望や相談事に真摯に取り組み、「安心できる暮らしの場」として機能します。

③利用者や家族の意向を反映させた「求められている支援（重度化・高齢化・医療的ケア）や体制」を構築します。

④利用者の可能性を広げる取り組みや活動の場の拡大を目指し、夕映えの郷との連携により交流の場を広げます。

⑤業務軽減を図る機器やさらなる福祉支援用具の導入により、福祉職の重労働を見直し、一層の効率化と業務軽減を図ります。

３－４－２）短期入所（ショートステイ）　部門計画

（１）部門目標：コミュニティ拠点としての施設を目指します。

（２）重点目標：

①緊急時や災害時の福祉避難所として機能し、円滑な受け入れ対応を目指します。

②重度の障害がある方や医療的ケアを必要とされる方を支える施設として、行政や相談支援事業所と連携を図り、受け入れ体制を整えます。

③レスパイト機能だけでなく、将来の施設生活に安心感が持てるよう、入所待機の場としても機能します。

④数少ない障害者施設としての需要に応えられるよう、利用日程を調整し、多くの方にご利用いただける施設を目指します。

⑤利用者の多様性（障害種別の多様化・家庭環境の変化・個別の多様な希望など）を受け止め、支援方法を一緒に考えていきます。

３－５）管理課　部門計画

（１）部門目標：利用者と職員が「安全・安心・快適」に過ごせるサービスの提供と職場環境づくりに努めます。「効率・効果的な経営」を行うよう業務改善を行い利用者のサービス向上に

努めます。
（２）重点目標：
①施設利用者が安心・安全・快適に生活ができる、職員が働きやすい職場環境になるようなサービスと環境整備に努めます。
②利用者の声に耳を傾け、食事に対する満足度を高めていきます。（利用者に寄り添う、食事提供に努めます。）
③安定的・発展的な事業経営ができるよう、業務の改善に努めます。また大規模修繕を効率・効果的に行うよう計画的に対応します。
④職員一人ひとりが生き生きと働けるよう、職員の健康と精神的健康の増進を図り活力ある組織づくりを推進します。

３－５－１）管理課　厨房　部門計画
（１）部門目標：「食べる喜び」を感じて頂き、おいしく安全な食事の提供に努めます。
（２）重点目標：
①他職種との連絡調整を密にし、職員が余裕を持って働ける環境と業務内容を整え、利用者のサービス向上（創意・工夫）につながるよう努めます。
②選択メニューや郷土食、新メニューなど楽しみにしていただける食事を心がけます。
③衛生管理を徹底し食中毒を予防します。

３－５－２）管理課　事務　部門計画
（１）部門目標：安定的・発展的経営ができるよう業務改善に努めます。
（１）　重点目標：
①　光熱水費や経費の削減を効率・効果的に行うよう努めます。
②　情報の共有、業務分担の見直しを行い円滑・迅速な外部対応と効率的な業務を行います。
③　他職種と連携し職員と利用者が安全で快適な環境づくりに努めます。

３－５－３）管理課　保安、宿直、清掃　部門計画
（１）部門目標：利用者と職員が安心・安全・快適に過ごせるよう各職種間と連携を取り効率・効果的な業務に努めます。
（２）重点目標：
①保守・修繕・清掃において職種間と連携し、効率効果的な業務に努めます。
②設備機器の更新や保守に際し、効率化が図られるよう努めます。また大規模修繕を効率・効果的に行うよう計画的に対応します。
③安全と清潔を心がけ、利用者と職員が快適に過ごせる環境づくりに努めます。